

- ①-⑧ 特集 “ジモト”を広く見てみよう
みんなで描く新しいジモト
- ⑨ 街の話題/コラム
- ⑩ LINEで情報発信
- ⑪-⑫ お知らせ

特集 “ジモト”を広く見てみよう

みんなで描く 新しいジモト

かながわのなかま



6・7面では、神奈川の仲間「カナカマ」をキャッチフレーズに、周辺7自治体と連携してジモトを応援する企画を紹介

「ジモト」と聞いて思い浮かぶのはどこですか。住んでいる家、通勤・通学で毎日通う駅、よく買い物に行く隣まちのお店。私たちは生活の中で、いくつものまちを当たり前に行き来しています。家のある景色も、通っているまちの景色も、特別なものではないかもしれません。

でも、近くにお気に入りの場所が増えると、住んでいるまちはきっと今よりも大切なものになります。気軽に遠くへ行けない今こそ、いつも通る道の一本向こう側、いつも行く駅の一駅先に足を延ばして、気付かなかった魅力を探してみませんか。

特集では、市内にとどまらず広く活動する人々や、市町村の連携した取り組みを紹介し、少しでも広くジモトを見つめてみます。

【2～8面に関連記事】



特区的商品として市内で開発された上肢支援ロボット「パワーアシストハンド」

産業

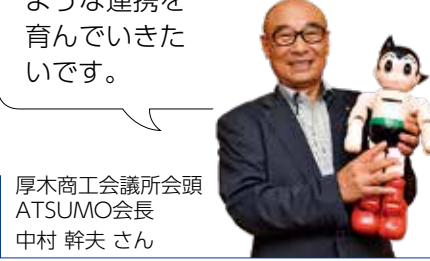
圏央道沿線地域で連携！

最先端の知識や技術が集まる地域 産業振興課 ☎225-2831

圏央道沿線地域の県内10市2町は、全国トップレベルのロボット関連産業が集まり、国から「さがみロボット産業特区」に指定される場所です。市内では、安心・安全な暮らしをサポートする生活支援ロボットなどが研究開発されています。特区への指定を受け、市では2013年に、厚木商工会議所と連携して企業約30社や大学と「あつぎものづくりブランドプロジェクト」通称「ATSUMO」を始動。ロボットでのまちおこしにも取り組んでいます。

会社の経営には競争がつきものですが、ものづくりにおいて、誰かの役に立つものを生み出したいという思いは共通しています。最先端の技術が集う地域の強みを生かして、まちの発展に貢献できるような連携を育んでいきたいです。

厚木商工会議所会頭
ATSUMO会長
中村 幹夫 さん



観光

伊勢原、秦野などと連携！

丹沢・大山地域を魅力ある観光地に 観光振興課 ☎225-2820

市は、県内有数の観光拠点「大山」に隣接する地の利を生かし、県や秦野・伊勢原市などと連携して観光客の誘致を進めています。これまでに、周辺の観光情報を配信する「大山観光アプリ」の開発やWi-Fi環境の整備などを共同で実施。今後の外国人観光客の増加を見据えてパンフレットの多言語化なども進め、大山地域を横浜・箱根・鎌倉などに続く県内の観光名所とするよう取り組んでいます。

圏央道や新東名高速道路が整備され、大山や宮ヶ瀬の観光とセットで宿泊や温泉を利用する方が増えています。コロナ禍ということもあり、近場に魅力的なスポットがあることを地元の皆さんにも改めて知ってもらい、周辺の観光が盛り上げられればいいです。

元湯旅館
黄金井のぞみ さん



丹沢・大山地域の年間観光客数は延べ1600万人を超える

自然環境

県内の自然保護団体や大学と連携！

人と自然の共生を目指して 環境政策課 ☎225-2749

市の周辺には、丹沢・大山の美しい山並みや相模川の清流など、豊かな自然があります。これらを後世につなぐためには、環境に配慮したまちづくりを進めることはもちろん、一人一人が環境保全の意識を持つことが大切です。市では、2013年に「生物多様性あつぎ戦略」を策定し、啓発講座などを実施。毎年開催している「さがみ自然フォーラム」では、県内の自然保護団体や近隣の大学生なども一緒になって、周辺地域の自然環境を研究・発表しています。

山や川は、地球上で全てつながっています。例えば川にごみを捨てれば、汚染は厚木に限らず広域に及びます。見えない誰かのために思いやりの気持ちを持って想像することが、環境保全の第一歩ではないでしょうか。



さがみ自然フォーラム
運営委員会
長岡 惇 代表



荻野地区の里山

防災

全国の市町村で連携！

激甚化する災害に対応 危機管理課 ☎225-2190



2019年の台風15号で被災した千葉県富津市の復興支援に当たる市職員

地震や水害などの大規模災害が発生した際は、迅速な復旧や対応が求められます。国や県、市が一体となって備えることはもちろん、いざという時には市町村の垣根を越えて、食料や飲料水の提供、ボランティアによる応援などで助け合います。市を含む県央相模川サミット（「広域行政」参照）でも、近年の豪雨災害や台風などの激甚化を受け、相模川流域の水害対策を協議。県からの伝達手段を改善するなど、連携して対策を進めています。

昨年の台風15号で被害を受けた千葉県富津市に、災害廃棄物の収集や分別などの支援に行きました。ごみやがれきの多さに被害の大きさを思い知ったのと同時に、全国から集う支援者たちが黙々と汗を流す様子を見て、強い絆を感じました。

危機管理課
小林 秀樹 主事



特集

「ジモト」を広く見てみよう

広域でつくる私たちの暮らし

私たちの暮らしを取り巻く環境は、市の境を越えてつながり、関わり合っています。他者とのつながりや連携は、互いを補い合い、高め合って、安心して暮らせる生活の基盤や新しいサービスを生み出します。より良い暮らしをつくるという共通の目標に向かって、市が近隣市町村と広域で取り組む活動を紹介します。

広域行政

愛川、海老名、清川、相模原、座間と連携！

地域の共通課題を連携して解決 行政経営課 ☎225-2160



相模川流域を美化清掃する「六市町村合同クリーンキャンペーン」

災害対策や環境保全などの地域共通の課題に取り組んでいます。2010年から開催している「県央相模川サミット」では、相模原・海老名・座間・厚木市、愛川町、清川村で課題を協議。国へのさがみ縦貫道路の料金の値下げの要望や、河川を一齐に清掃する「六市町村合同クリーンキャンペーン」を実施しています。

県央地域は、新東名高速道路やリニア中央新幹線の開通など、大きく発展する可能性を秘めています。広い視点を持ち、地域全体の魅力を高めることで、厚木市の持続可能な発展につなげていきます。



小林市長(写真は県央相模川サミットの首長たち)

ごみ処理

愛川、清川と連携！

広域化で課題に対応

厚木愛甲環境施設組合 ☎297-1153



各自治体で集めたごみを一括処理

ごみ焼却施設の更新やごみ処理経費の削減といった共通の課題を解決するため、2004年に3市町村で厚木愛甲環境施設組合を設置しました。共同でごみを処理する施設の建設を進め、25年の運用開始を目指しています。

警察

県内全域で連携！

連携でまちを守る

厚木警察署 ☎223-0110



県内有数の規模を誇る厚木警察署

厚木警察署は愛川町と清川村を含む3市町村を管轄し、事件・事故の対応に当たっています。重大事件の捜査は広範囲にわたる場合が多いため、近隣の警察署と訓練を実施するなど、県内全域で連携しています。

消防

県内全域で連携！清川と消防広域化！

迅速な人命救助のために

消防総務課 ☎223-9366



清川村煤ヶ谷に整備した清川分署

災害や事故が大規模化・多様化する中、広域的な消防体制を整える必要があります。県内では、自治体間でお互いに支援し合う仕組みを構築しています。さらに市では、2016年に清川村内の消防業務を厚木市消防が担う「厚木・清川消防広域化」を開始。玉川・小鮎地区への緊急車両の到着時間を早めながら、周辺地域の消防対応力の強化に取り組んでいます。

登山道や湖に関わる地域ならではの事故があるため、村の防災訓練や災害対策会議に参加するなど、情報交換を大切にしています。一刻を争う人命救助に、境界線はありません。大切な命と財産を守るため、隊員全員が全力で業務に当たっています。



清川分署
落合 真也 分署長

医療

愛川、綾瀬、海老名、清川、座間、大和の県央医療圏と連携！

県央地域の医療を充実

市立病院 ☎221-1570

県内では、病床数や人口などの地域の実情に合わせて、複数の市町村で連携して治療に当たっています。適切な医療を提供するには、総合病院とかがりつけ医の連携も欠かせません。最新の医療機器や専門医が充実する市立病院は、緊急性の高い医療を広域で担う拠点の一つ。指定医療機関として県央地域の新型コロナウイルス感染症の治療にも当たっています。

皆さんの命と健康を守るために、高度医療を提供する病院としての責任があります。適切な医療を提供するためにも、近隣病院との連携は欠かせません。コロナへの対応も同じです。県央地域の医療を支えるという使命感を持って、今後も診療に当たっていきます。

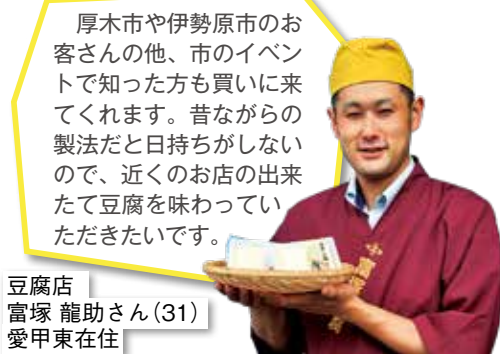
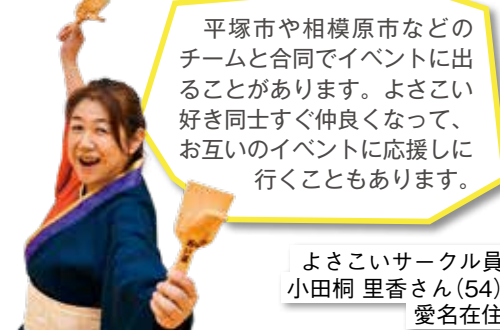
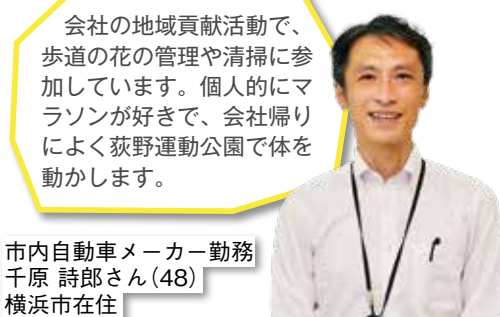
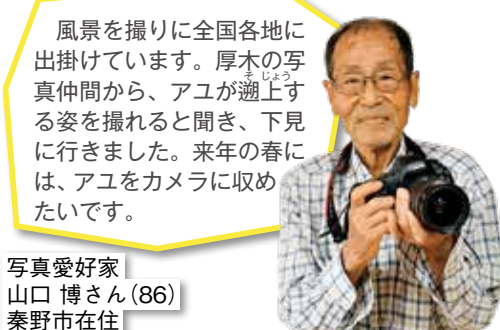


市立病院
長谷川 節 院長



災害時には県央地域の拠点としての役割も担う市立病院

「カナカマ」の皆さんに聞きました
あなたの生活はどこにある？
 皆さんの住むまち以外にある“生活”を教えてくださいました。あなたはどこで、何をしていますか？



「僕が外から見て感じた魅力に、中の人が気付いていなかったり、発信しようとしていなかったりする」と話す梶さんが広く届けたのは、まちが本来持っている自然や歴史、飾らない魅力です。「厚木市は、流行や新しさに左右されない価値を持っていると思う。工房もその一部になれるら」。魅力の再発見と発信に日々奔走する梶さん。これからも、地元の価値に目を凝らしていきます。



ボランティア 厚木市・海老名市・清川村・愛川町 活動拠点 清川村 厚木市に移転中

ティアのため東北を訪れたのが始まりでした。保護した動物を、一時的に世話する拠点を、清川村にたどり着いたのが7年前。今では県庁を中心に、里親探しや野良猫の不妊手術に取り組んでいます。手術で発情期がなくなると、衝動が落ち着きけんかや交通事故などが減ります。加えて野良猫は、病気にかかりやすく短命。吉島さんは「野良猫を増やさないようにして、かわいがってくれる人と暮らせる子を増やすことが猫にとっても幸せだと思う」と力を込めます。しっぽ村が目指すのは、人と動物が幸せに共生する社会。そのため

受け入れてもらうのが目標」と話す吉島さんたちは、設備の準備に加え、近くに住民への説明にも駆け回っています。「新しいしっぽ村は、多くの人が気軽に訪れて、命の大切さに触れられる場所にしたい」。建物に移すだけでは、地元の施設にはなりません。地域の理解と信頼関係が動物たちを守ることにつながり、地域を暮らすしやすくなることにもつながっていきます。一匹でも多く、一人でも多く幸せにし、しっぽ村の職員は今日も、犬猫と人との共生のために汗を流しています。

芸術 厚木市で働く 大和市に住む ガラス工房経営者

澄んだ水を切り出したようなオブジェに、鮮やかな光を弾く色とりどりの器。市内唯一のガラス工房には、世界に二つとない品々が所狭しと並びます。片

持っている面白さが知られないのはもったいない。1年ほど前から代表を務める工房も、世界レベルの職人と関東でも最大規模の設備がそろった特別な場所をなくしたくないと、当時の代表が量もうとしていたところを継いだものです。専門技術を伝える職人だけで

動物愛護団体

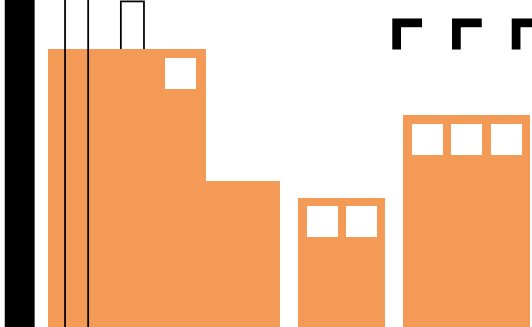
「おなか空いたね。ちよっと待っていて」。にやにやとあつとご飯をせがむ猫たちに優しいまなざしを向け、表情や体調を確認します。ここは、動物保護施設「清川しっぽ村」。2019年の台風で被害を受け、厚木市内に移転する準備を進めています。しっぽ村の活動が始まったのは、震災のあった11年。飼い主のいなくなった犬や猫がいるのを報道で知り、居ても立ってもいられなくなった代表・吉島崇憲さん(41)をはじめとするメンバー4人が、ボラン

には、活動や正しい付き合い方を多くの人に知ってもらい、必要があります。「まずは、縁あった新しい拠点を、周りの方に



特集 「ジモト」を広く見てみよう

やりたいこと、好きなこと、どこでする？



働く、学ぶ、遊ぶ…私たちは、住むまち以外でも当たり前暮らしを営んでいます。自分の生活と複数のまちとの結び付きを改めて振り返ってみると、新しい発見があるかもしれません。ここでは、市境を越えて活動し、生き生きと暮らす人たちを紹介します。



「加賀さんは、先生というより仲間みたいな感じ」と話すのは、海老名市のラテンエクササイズサークル代表・磯田睦さん(37)。綾瀬市や大和市からも受講者が訪れる加賀さんの講義を家の近くでも受けたいと、4年前に立ち上がったサークルです。磯田さんは「ダンスが苦手でも、ちゃんと汗をかいて楽しめるよう工夫してくれる」とほほ笑みます。活動は徐々に広がり、秦野市での開講を望む声もあります。

運動を一人でも多くの人に好きになってもらうため、仲間と汗をかく気持ちよさを伝える加賀さん。「活動はずっと続けるつもり。将来は大好きな厚木で

「地元の体操おばさん」になりたい」と快活に笑います。加賀さん自身が誰よりも楽しんでるからこそ、たくさんの方が集まってくるのかもしれない。



運動

厚木市に住む 厚木市・海老名市で働く

フィットネス インストラクター

「となり」に「とりっぷ」

感染対策が欠かせない今、近場のスポットで「となりっぷ」を楽しみましょう。

皆さんのお勧めスポットもぜひ共有を♪

#かながまとなりっぷ

お出掛けの際は、感染対策を

丹沢山
県の天然記念物のモミの原生林やブナ林、美しい清流が人気の景勝地

清川村
Kiyokawa

宮ヶ瀬湖
首都圏50圏内では最大級の湖。周辺には湖畔園地や土産物屋などが立ち並ぶ商店街がある

飯山・七沢温泉
強アルカリ性で肌がツルツルになるため、美人の湯ともいわれる。山里の景色を楽しみながらリフレッシュ。写真は元湯旅館

ツリークロスアドベンチャー
七沢温泉に隣接する森にある森林冒険パーク。深さ30mの谷の上をジップラインで滑空し、非日常的なスリルと爽快感を体感できる

厚木の魅力をもっと紹介！「るるぶ厚木」を発行
市内の店舗などを応援するため、温泉やグルメ、レジャーなどの情報をまとめた観光ガイドブックを全戸配布します。

インスタグラムでお勧めスポットを発信
旬な情報やお勧めスポットの写真を更新しています。

三之宮比々多神社
関東最古といわれる本像「狛犬」が伝わる神社。境内や周辺で多くの遺跡や古墳が発見され、併設の資料館には出土品が多数収められている

ロケ地巡り
市内で映画やドラマなど多くの撮影がされている。ロケ地には撮影シーンの写真を載せた看板を設置

恵水ボークの豚丼
道の駅「清川」内レストランの人気メニュー。清川の水で育った豚の肉は柔らかく、脂は甘い。

ざまみず
座間の地下水をそのままアルミボトル缶に。口当たりがまろやかで、ミネラルが豊富な中硬水。

とんすきメンチ
綾瀬の郷土料理「豚すき」を具材にしたメンチカツ。柔らかいお肉にサクサクの衣が後引くうまさ。

新型カキノタネ
伊勢原市内の食品メーカーと自動車メーカーが共同開発。柿の種の形は、歴代の名車に大山を加えた24種類。

塩川滝
落差15mから降り注ぐ、迫力のある滝を間近で見られる

古民家山十郎
やまじゅうてい
1883年に建てられた豪農の屋敷で、母屋と門は国登録有形文化財

県立座間谷戸山公園
総面積32%の公園。里山の風情が残され、四季折々の自然と触れ合える

芹沢公園
50mの滑り台や「ざまりん」の遊具などがあり、「かながわの公園50選」にも選ばれている

文化創造拠点シリウス
広々とした屋内こども広場や図書館、芸術文化ホールなどが融合した施設

大和ゆとりの森
広大な芝生の広場や、大型の複合遊具、バーベキュー広場などがあり、幅広い世代が楽しめる

エビーロード
海老名駅西口に2015年に誕生。通り沿いには大型商業施設や飲食店、医療モールなどが並ぶ

海老名SA
サービスエリア
全国トップの集客数を誇るSA。ここでしか買えない限定商品もあり、一般道からも入場できる

愛川町
Aikawa

座間市
Zama

大和市
Yamato

海老名市
Ebina

伊勢原市
Isehara

綾瀬市
Ayase

厚木市
Atsugi

YOKOHAMA

YOKOSUKA

HAKONE

KANAKAMA

あなたの「楽しい！」がジモトを支える

特集

ジモトを広く見てみよう

住民の皆さんにジモトの魅力をもっと知ってもらうために、厚木市と7市町村が連携し、隣まちのお勧めスポットを紹介しています。近場の魅力を探しながら、ジモトの新しい一面を見つけてみませんか。

広報課 ☎ 225-12040

地域の連携で元気に

県央地域県政総合センター 木口 真治 所長

県央は都市機能が発達し便利な一方、丹沢の山々や湖などの自然もあり、バランスのとれた住みやすい地域です。コロナ禍で新たな地域の課題が生まれているのはどのまちも同じです。住民の皆さんとお互いのまちの良さを見つけ合って、一緒に乗り越えていきましょう。



8市町村合同企画

10月1日公開 リレー動画でお勧めスポットを紹介

ジモトを応援するため、8市町村のゆるキャラ®がお互いのまちの観光地などを紹介する動画「かながまとなりっぷリレー」をYouTubeで公開しました。さらに住民の皆さんの写真を集める参加型の動画も作成します。

みんなで
動画を作ろう

#かながまとなりっぷ 写真を募集

《募集期間》 10月1日～12月31日

《対象》 愛川町、清川村、厚木・綾瀬・伊勢原・海老名・座間・大和市内で撮影された、近場での観光や、地元の魅力・元気を写した写真（一人何点でも応募可能）

①Instagram、ツイッター、フェイスブックでハッシュタグ「#かながまとなりっぷ」を付けて画像を投稿②Eメールに写真を添付し広報課 ☎ 0200@city.atsugi.kanagawa.jpへ。集まった写真をつないで動画にし、来年3月に公開予定。

詳細は 厚木市 かながまとなりっぷ

検索



リレー動画
はこちら▶

みんなのお勧め
スポットや、近くで
楽しんでいる写真を
応募してBGM~



今こそ、神奈川の仲間「カナカマ」で力を合わせよう

今、私たちの生活は変わり続けています。家で過ごす時間が増え、気軽に遠くへ出掛けることも、前より難しくなりました。感染対策を心掛けながらも、まちが元気であるためには、経済の応援が欠かせません。そこで、厚木市、愛川町、綾瀬市、伊勢原市、海老名市、清川村、座間市、大和市の8市町村が団結。「神奈川の仲間」を意味する「カナカマ」と、隣まちへの小旅行を表す「となりっぷ」を合わせたキャッチフレーズを考えました。10月の広報紙では、それぞれが隣まちの魅力的なスポットを紹介しています。さらに、隣まちへ出掛けて観光を楽しむ動画を作成しました。



特集

「ジモト」を広く見てみよう

力を合わせて地域に活力を

将来的な人口減少やコロナの困難に直面する中、いつまでも活力あるまちで在り続けるためにはどうすれば良いのか。今、一人一人ができることやこれからのまちづくりについて、自治体政策や地域政策を研究する牧瀬稔先生に伺いました。

競争から共創の社会へ

近年、全国の市町村が人口減少に対応するために、シテイプロモーションや企業誘致、観光政策などによる地方創生に取り組んでいます。しかし、皆が定住人口や観光客を増やそうと競えば、減り続ける人口を奪い合うことになり

ます。数字で見える人の増減に一喜一憂するのではなく、人口減少社会に対応した仕組みをつくり、住む人の満足感を高めるための事業を展開することが、地方創生を進める上で大切です。

特に、消費や雇用の確保、行政サービスの質の維持は喫緊の課題です。広域で地域資源を共有できれば、ごみ処理や消防、高齢者医療といった生活に欠かせないサービスを充実させられます。また、地域活動に関わる関係人口

(下欄参照)を広域で増やすことも、地域活性化につながるでしょう。市町村の枠を越えて、共に地域を創り上げる共創の社会へと転換が求められています。

地元愛を地域の活力に

地域活性化に取り組む上で大切なのは、一人一人の地元意識です。最近ではシビックプライド(都市に対する市民の誇り)ともいわれています。そもそも多くの住民は、市町村区域を意識して生活していません。住んでいる場所に関わらず、厚木が好きで、関わってくれたら、一人の関係人口なのです。

たとえ移住を伴わなくても、周辺地域にシビックプライドを持つ関係人口が増えれば、地域活動が活発になり、活力が生まれます。シビックプライドが

高いと地域に目が行き、近隣とも仲良くなるため、暮らしが充実します。孤独死や孤立死を防ぐセーフティネットの役割も果たすでしょう。

日々の買い物やレジャーなど、地元で過ごす当たり前の日常がシビックプライドを高めます。そこに住む人たちが幸せに暮らしていれば、自然とまちのファンが増え、将来的な若者の定住やUターンに

関係人口って何？

出典：総務省

その土地に住む定住人口でも、観光に来た交流人口でもない、地域や地域の人々と多様に関わる人を関係人口と呼びます。通勤・通学や買い物などで訪れる人や、出身の人などを指します。



もつながるはずですが。今回の連携企画「かながまとなりつぷ」のような、近場で観光を楽しむマイクロツーリズムを基調とした連携は、県央プライドを育む良い機会ではないでしょうか。

今こそ力を合わせるとき

コロナにより、私たちの生活は大きく変わりつつあります。地域活性化にも、これからの時代に即した新しい概念が求められるでしょう。大変な時代からこそ見えてきた絆や課題を糧に、周りと手を取り合って、困難を乗り越えていきましょう。

県央の魅力がさらに向上

厚木PAスマートインターチェンジ

圏央道の厚木PAに連結した県内初のスマートICが開通しました。ETC(自動料金支払いシステム)で24時間利用でき、全方向に出入りできます。依知地区や座間市方面とのアクセスが飛躍的に高まり、県央地域全体の活性化が期待できます。

道路整備課 ☎225-2354

9月26日
開通

厚木PAスマートICのここがスゴイ！

- ☑ 交通利便性が向上
- ☑ 物流の効率化による企業誘致促進
- ☑ 地域経済の活性化
- ☑ 救急搬送時間の短縮

市民の意見を市政に 市民参加型外部評価を実施



議論を交わす評価委員

市の事業を見直しサービス向上につなげる「市民参加型外部評価」を、8月に実施しました。今年は感染症対策のため会場を開放せず、インターネットのみで議論の様子を配信。当日は、放置自転車対策や不法投棄防止、観光宣伝に関する事業を委員が議論し、拡大・現行通り・要改善・縮小・廃止の五つの区分で評価しました。

評価委員を務める西尾隆特任教授は、「外部評価は、市民の皆さんが行政に対する理解を深められる機会。そこに住む人が行政に意見を伝えることが、より良いまちづくりにつながる」と力を込めました。

戦後75年の節目に平和の誓い 文化会館で戦没者追悼式を開催

小林市長は「太平洋戦争の終結から75年という節目を迎えた今年、新型コロナウイルスという見えざる敵に対峙している。当たり前の日々が、どれほど幸せなものか改めて感じる機会になった」と思いを巡らせました。遺族会の潮田会長は「自らの経験や先人から受け継いだ知識は次の世にも語り継がなければならぬ。これから平和な世が築かれることを強く願う」と思いを込めていました。



戦争の犠牲者をしのび、献花台にはたくさんの花が添えられた

平和への思いを子どもたちへ 友好都市・糸満市の語り部が戦争体験講話

終戦の日を前に、糸満市出身の語り部である上原美智子さんが、戦争の体験をオンラインで厚木の子どもたちに伝えました。集まった小・中学生20人が、戦争の悲惨さや平和の大切さを学びました。

熱心に耳を傾けていた子どもたちは「戦争は絶対にしてはいけないと思った」「今日聞いた話を友達にも伝えたい」と感想を話しました。上原さんは「オンライン開催となったけれど、子どもたちに沖縄戦の経験や平和への思いを伝えられて良かった。戦争は二度と繰り返してはいけない」と力強く語りました。



熱心に学ぶ子どもたち

同じ悩みを抱える人の力に ドローンパイロットが著作を寄贈

市内在住のドローンパイロット・高梨智樹さん(21)が自身の著作「文字の読めないパイロット」を市に寄贈しました。文字の読み書きが困難な識字障害がある高梨さん。パイロットとして世界大会などで活躍する傍ら、父親らとドローンを使った会社を起業。空撮や機体の開発などにも携わっています。

小林市長は「困難を乗り越えて挑戦する姿は多くの人に勇気を与える」と語りました。高梨さんは「自分の体験を誰かに役に立ててほしいという思いで本を出した。同じ悩みを抱えている人や、家族の皆さんの力になれたらうれしい」と笑顔を浮かべました。寄贈された本は、中央図書館で借りられます。



小林市長に著作を手渡す高梨さん

アツギ X ニュージーランド ホストタウン通信

NZの各スポーツ協会からのメッセージを紹介

第3回 NZ車いすラグビー協会会長 ニコラス・ヘイワースさん

「ウィールブラックス」の名で親しまれているNZ車いすラグビー代表チームは、2008年の北京大会以来、3大会ぶりの出場となります。私たちの今大会最大の目標は、障がい者だけでなく健常者にも車いすラグビーを知ってもらうことです。厚木市の皆さんと一緒に、競技の魅力を伝える活動ができたらうれしいです。

昨年、厚木市を訪問した際、皆さんは私たちをとても温かく迎えてくれました。車いすラグビーを通じて、多様性や共生社会について語り合えたことは、大切な思い出です。来年、また厚木に訪問できる日を楽しみにしています。



2018年10月に実施した交流会(中央がニコラスさん)

東京オリンピック・パラリンピック(東京五輪)に向けて、ホストタウンとなったニュージーランドとの交流事業を紹介します。

皆さん、私と一緒に写っている近隣自治体のご当地キャラクターたちを知っていますか? 毎年厚木市で開催している「かなキャラ大集合!」などで力を合わせ、地域の魅力を発信してくれている皆さんです。

市では、こうしたキャラクターを通じて魅力発信だけでなく、医療や観光、防災など、広い分野で他の市町村と連携しています。全国的に人口減少が見込まれる中、解決が困難



市長 小林 孝良



ご当地キャラクターたちと共に

の自治体と手を取り合っていく必要があります。

9月26日には、圏央道・厚木PAスマートインターチェンジが開通しました。交通の面でも近隣自治体との結び付きが強まり、県央地域全体の活性化が期待されています。感染症の影響で気軽に遠くへ行けない今こそ、互いの魅力を見つけて発信し、共に地域全体を盛り上げていきましょう。

な課題にこそ、多くの市町村が一体となった取り組みが不可欠です。これからは、人も予算も限られた社会を迎えることが予想されます。その中で、良質な市民サービスを提供し、活力のあるまちで在り続けるためには、これまで以上に県央地域をはじめとする近隣の自治体と手を取り合っていく必要があります。

Zoom Up

防災や感染症などの情報伝達を速やかに LINEで情報発信

無料通信アプリ・LINE（ライン）は、国内で最も利用者が多い会員制交流サイト（SNS）です。市では8月24日に、公式アカウントを開設。風水害や地震をはじめとする災害や感染症など、市民の皆さんにとって重要な情報を速やかに発信していきます。

市の情報は、広報紙やホームページ、メールマガジンなど、さまざまな媒体を通じて発信しています。スマートフォン（SNS）の利用率が約7割に迫る中、SNSは、個人だけでなく自治体や企業にとっても欠かせない情報発信手段となっています。

市では、若い世代を中心とした多くの人に情報を届けるため、以前からツイッターやフェイスブックなどのSNSでさまざまな情報を発信してきました。さらに発信力を高めるため、8月から新たに「ライン」の公式アカウント

を開設しました。

簡単な登録で情報を自動受信

ラインは、国内で8千万人以上が利用する、訴求力の高いSNSです。スマートフォンやタブレットを持っている人であれば、アプリをダウンロードし簡単に登録が可能（下欄参照）。市の公式アカウントも、開設から1カ月で約4千人が登録しています。登録すると、市からのメッセージが自動で届くため、自分で調べなくても大切な情

報を得られます。

普段からSNSを使っている岩品将幸さん（29・上依知）は「ラインは、メールマガジンよりもなじみがあり、利用しやすい。災害が起きたときの避難所の情報などがラインで届くのはとても助かる」と話します。

緊急度の高い情報を多くの人に

市の公式アカウントで発信するのは主に、緊急度の高い情報です。風水害や地震など、災害発生時や発生の恐れ



スマートフォンでどこでも情報を得られる



市公式 LINEの機能

メッセージ
災害や感染症など、緊急度の高い情報を発信。

リッチメニュー
画面を押すとすぐに次のサイトを表示できます。

- ①市ホームページ
- ②市民情報提供システム「スマ報」（下欄参照）
- ③ごみと資源の分別辞典「ごみサク」
- ④公共施設予約システム
- ⑤防災情報
- ⑥感染症情報

さらに情報を得やすい環境を

市では、市民の皆さんが情報を得やすいよう、多くの媒体を用いて発信しています。来月4月には、市ホームページもリニューアル予定。同時に、ラインも更新し、さらに使いやすいう機能を高める計画です。

適切な情報の伝達は、市民の皆さんの安心・安全な暮らしや、利便性の向上につながります。市では今後も、皆さんが生活のスタイルに合わせて必要な情報を得やすい環境の整備に努めていきます。

情報政策課 ☎225-2459



友だち登録の方法

スマートフォンやタブレットを持っている人であれば、無料ですぐに始められます。

アカウント名：厚木市 ID：@atsugi_city

初めに

- ①スマートフォンなどにLINEのアプリをインストール
- ②ユーザー登録

登録方法

- ①二次元バーコードから
- ②ID「@atsugi_city」で検索



スマートフォンでまちづくりに参加

「スマ報」は、道路の損傷や不法投棄、身近なまちの課題などを市に情報提供する仕組みです。頂いた情報を基に、市が課題解決などに取り組みます。

☎情報政策課 ☎225-2459

【使い方】

- ①専用サイトで登録
- ②情報提供する項目を選ぶ
- ③位置情報付きの写真やコメントを添付して送信

【送れる情報】

- ①道路や公園遊具などの損傷
- ②不法投棄・落書き
- ③外来生物（オオキンケイギクなど）
- ④市の魅力（開花、紅葉など）



▼専用サイト



厚木市のSNS

ツイッター



マチマチ



その他のSNS



タウンガイド

10月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

11月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

☎=申し込み ☎=問い合わせ ☎=電話番号
 ㊟=ファクス番号 ㊟=Eメール HP=ホームページ
 ㊟=マイタウンクラブ(㊟印の番号で、ウェブ上から詳しい情報を確認できます。「㊟」で記されたものは、申し込み可)
 市役所への郵便物は「〒243-8511〇〇課」で届きます。

あつぎのしゃしん。



「大山に架かる虹」

#9月7日撮影
 #大山
 #雨上がり
 #niceatsugi
 広報課公式インスタグラムで公開中



新型コロナウイルス感染症に関する県の相談窓口

帰国者・接触者 相談センター	新型コロナウイルス感染症 専用ダイヤル
高熱や息苦しさ、強いだるさがある人など(24時間対応) ☎(0570)056799	微熱や軽いせき、感染に不安のある人(毎日9～21時) ☎(0570)056774

新型コロナウイルスの影響で掲載の催しが中止となる場合や、利用に制限のある施設があります。市HPで随時お知らせします。

2020年度版市民便利帳を発行

まちの魅力や市役所での手続きなど、暮らしに役立つ情報をまとめた冊子を、10月中に全戸配布します。☎広報課☎225-2040。



糖尿病予防のマル秘テク講座

11月12日、14時～15時30分。萩野公民館。保健師や栄養士による高血糖の防ぎ方を学ぶ。血管年齢・骨健康度測定も同時開催。市内在住の40～64歳15人。無料。☎10月1日から健康づくり課☎225-2201へ。先着順。

あそぼう！まなぼう！ まめの木タイム

10月27日、11～12時。まつかけ台児童館。発達に関する講座や親子触れ合い遊びなど。乳幼児と保護

者20組。無料。☎当日直接会場へ。☎療育相談センター☎225-2252。

雑木林の生き物探索・ どんぐりクラフト

10月31日、14～16時。あつぎ郷土博物館。展示されている動植物の解説と、雑木林にあるドングリの実の観察やクラフト作り体験。定員15人。無料。☎10月1日からあつぎ郷土博物館☎225-2515へ。先着順。

10月15～21日は違反建築 防止週間

期間中、建築基準法のPR活動や違反建築防止パトロールを実施します。☎建築指導課☎225-2434。

競争入札参加資格の定期申請を

市が2021年4月1日～23年3月31日に発注する建設工事・業務委託などの入札に参加する事業者は定期申請が必要です。☎11月30日までにかながわ電子入札共同システ

10/10は目の愛護デー 40歳を過ぎたら緑内障に注意 眼科健診を受けましょう

40歳以上の20人に1人は緑内障です。自分では気づきにくいので、健診を受けて早期発見・治療につなげましょう。☎健康づくり課☎225-2201

《対象》市内在住で本年度40・45・50・55歳になる方

《期間》2021年2月15日まで

《内容》視力・眼底・細隙灯顕微鏡眼圧検査など

《費用》2300円

《受診方法》申し込み後に送付される受診券を持ち、直接実施医療機関へ（予約が必要な場合あり）。実施医療機関は市HPに掲載。

☎直接または電話で健康づくり課へ。



早期発見のために 健診を

三宅 正敬 医師(63)



視力が良ければ目は健康と思いがちです。しかし緑内障は、視力の良し悪しに関わらず発症する可能性があります。視神経は一度傷つくと元には戻りません。「違和感が無いから問題ない」「視力が良いから大丈夫」などと思わず、定期的な健診を心掛けましょう。

緑内障ってどんな病気？

視神経に障害が起こり、視野が狭くなったり、部分的に見えなくなったりする病気です。かなり進行するまで自覚症状がほとんどなく、治療が遅れると失明に至ることもあります。

ムHPで申請し、提出書類を12月1日(消印有効)までに簡易書留で〒243-8511契約検査課☎225-2171へ。

フードバンクの活動に協力を

食品ロスを減らすため家庭で余った食品を募集し、必要な家庭に無償で提供します。

《日時》10月21日、10～15時《場所》あつぎ市民交流プラザ《対象食品》賞味期限まで2カ月以上あり、常温保存できる未開封の物。☎当日直接会場へ。☎Heart34☎220-5088(10～16時)。



野焼きの制限

野焼きは原則禁止です。農業など、条例で認められている場合も近隣に配慮してください。☎生活環境課☎225-2752。

献血のお知らせ

10月17・26日、11月1日。10～12時、13時30分～16時。本厚木駅北口。本厚木献血ルームでは、年末

年始を除く毎日9時40分～17時30分に随時受け付け(献血内容で時間が異なる)。☎県赤十字血液センター☎228-9818。

みんなの声で つくるまち

《意見交換会》

①(仮称)あつぎの道づくり計画策定

10月21日、10～12時。市役所第二庁舎。

②第7次行政改革大綱の策定

10月13日、19～20時。市役所本庁舎。

③公共施設個別施設計画の策定

10月15日、19～20時。市役所本庁舎。

いずれも☎電話またはファクス、Eメールに意見交換会名、〒住所、氏名(ふりがな)、電話番号を書き、①10月16日までに道路管理課☎225-2300・☎221-0298・㊟4050@city.atsugi.kanagawa.jpへ ②10月9日 ③10月12日までに行政経営課☎225-2160・☎225-3732・㊟0600@city.atsugi.kanagawa.jpへ。

国勢調査

10月7日まで



回答はインターネットや郵送で期限までをお願いします。

☎行政経営課☎225-2180

飯山観音長谷寺の 文化財を訪ねて

秋の文化財一般公開

長谷寺の貴重な文化財を、一日限定で一般公開します。この機会にぜひご覧ください。

《日時》11月3日

一般公開は10～15時。

お寺による御開帳・御朱印は8時30分～16時30分。

《費用》無料(駐車場は1日500円)

☎当日直接会場へ。



市指定有形文化財「観音堂」

☎文化財保護課☎225-2509

ホット

インターネットモニターからの意見を紹介



インターネットモニター募集中

厚木市 インターネットモニター 検索

☎広報課☎225-2043

9月1日号「広報あつぎ」を読んで

◆100歳になっても食事・洗濯の家事を自分するのは素晴らしい／40代女性 ◆新しい総合計画でより住みやすいまちになるといい／30代女性 ◆救急隊の活動内容がよく理解できた／70代男性 ◆昼夜問わず活動している救急隊の皆さんには本当に感謝している／70代女性 ◆横手市の物産がどんなものか楽しみ／60代男性 ◆今まで知らなかった渡辺山を知れて良かった／20代女性

編集後記

連携企画を始めるため、断られるかもしれないと思いながら他市町村の皆さんに電話をしましたが、快く賛同していただきました。感染対策のためオンライン会議やメールを使い一度も会わずに企画を進めました。直接話せない難しさもありましたが、皆さんが「ジモトのため」と力を尽くして、どの自治体も思いは一つと感じました。この企画で皆さんにもっとジモトを好きになってもらえたらと思います／前場

いつ起こるか分からない災害に備えて

総合防災訓練

訓練は、自治会で組織する自主防災隊ごとに実施します。コロナ禍に合った訓練で、自分や大切な人の命を守るよう災害への備えを進めましょう。

☎危機管理課 225-2190

コロナ禍に合った避難を

厚木第二小学校避難所運営委員会委員長
宮田 幸紀さん(75・旭町)

避難所は、テントなどで3密を回避する対策をしているため、入れる人数に限られます。自宅が安全な場合は自宅にとどまるなどの感染対策を意識した避難が必要です。災害の状況に合った避難方法を確認しておきましょう。

10月18日 8時30分～

【場所】 各自主防災隊の訓練場所
【内容】 避難所開設・運営、初期消火など
開催状況は市HPや各自治会の回覧を確認してください。

昨年(2019年)の訓練の様子

コロナ禍の避難に備えて
自分に合う
避難方法の検討を

感染症の拡大防止のため、災害時の避難にも対策が欠かせません。災害に備え、在宅・分散・車中泊避難を確認しましょう。

①在宅避難
ハザードマップを確認し、洪水・浸水・土砂災害の危険がなく、自宅で安全が確保できる場合

②分散避難
在宅避難が困難で、安全な知人宅、ホテルなどが近くにある場合

③車中泊避難
在宅・分散避難ができず、ペットと避難したい場合など
駐車場の開放状況は市HPに掲載

コロナ禍の避難に関する情報はこちら▶

文化会館 駐車台数約200台

荻野運動公園 駐車台数約300台

自然歳時記

●ムツボシオニグモ●
コガネグモ科

ムツボシオニグモは、コガネグモの仲間で円網を張り、その中心にいる。大きさは6mmほどでとても小さく、気づきにくい。おなかに3対の黒い斑点が見られる／中荻野、荻野川の川縁で見つけた。写真・文/吉田文雄



小さくてあまり目立たないイヌタデの花が、あちらこちらに咲いていた。一度刈り取られた太い茎の脇から細い茎が出て、けなげなアカマンマ(イヌタデの別名)の花がつつましく咲いていた。

ふと見ると、その花を上手に使った細いクモの巣が見えた。網の中心には、黄緑色のムツボシオニグモがいる。あまり見掛けないクモの珍しさよりも、紅色の花に囲まれた美しい場所にすみかを作った芸術性に深く感動した。

人間の手によって住む場所を奪われても、生き物たちは今を見つめ、さらに工夫を凝らしながら懸命に生きている。その姿に生命の尊さを学んだ。

厚木市の人口
(9月1日現在)

世帯数 10万1060世帯(前月比44世帯減)

人口 22万3815人(前月比204人減) 男11万5774人・女10万8041人

「広報あつぎ」では、自主財源確保のため広告掲載事業を実施しています。広告掲載の申し込みは(株)横浜メディアアド ☎045-450-1804へ。